





おはようございます
ご主人様 ♡

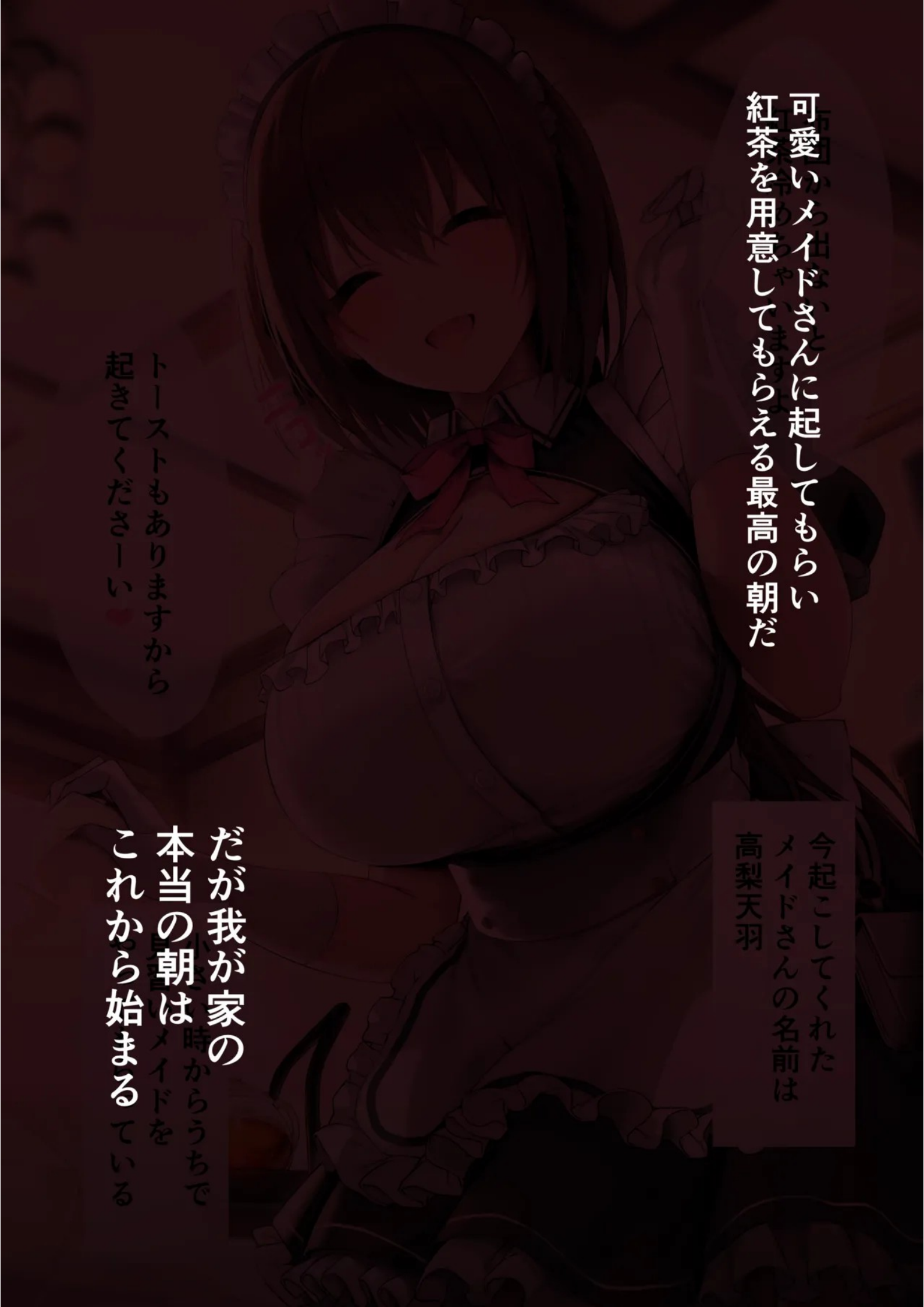
朝のお紅茶
お持ちしました



布団から出ないと
紅茶冷めちゃいますよ

ニクッ
トーストもありますから
起きてくださーい ♡





可愛いメイドさんに起してもらい
紅茶を用意してもらえ最高の朝だ

トーストもありますから
起きてくださーい

今起こしてくれた
メイドさんの名前は
高梨天羽

だが我が家の
本当の朝は
これから始まる
時間からうちで
メイドを

「ダメでーす♡」

「ああああッ!!」

「あーん♡あれだけフエラで
抜いたのにい…んッ♡れろれろ♡
収まるどころかあ…どんどんチンポ
仕上がつてきちゃつてますねえ…♡」

「ま、待つて…ッ、今イッたばかりだから…もう射精ないつてッ」



「まだこんなガチガチにしてるじゃないですか♡」
じゅる...ぐふふ...♡んぶっ...♡
「ご主人様の性欲を鎮めるのが
メイドである私の勤めですので...♡」

ぢゅるる

「ザーメン出なくなるまで空っぽにして
勃起チンポがちゃんと収まるまで...♡」
じゅふふう...♡んっ♡...れっろお♡
「じーっかり、お世話させていただきます♡」

おち

みぢ♡

おおあ♡

紅茶を済ませた後は
天羽の性欲剥き出しのフェラで
朝を迎えるのが日課になっている

これから家を背負う主として
勉強やスポーツと同じく
女性に慣れてもらうことの
一環だとは言われているもの…

「でも危なかったですね…♡
これだけの性欲グツグツ高ぶらせて…
溜め込んだまま学校に行ってたらあ…♡」

…じゅっつぱ♡じゅぞぞ♡
「思春期の性欲滾らせまくってえ…
学業に支障をきたしてしまうところ
でしたよお♡」



ピタッ...

「うっ...!?」
ビクビクッ!!

「んふう〜♡
ほーら、我慢汁
だらだら溢れて...♡
射精準備...ちゅ〜っ♡
整ってきましたねえ...♡」



絞り取るためだけの
容赦のないがつつきフェラからの
緩急を付けた亀頭吸いつき...ッ

ふう〜♡ふう〜♡
ねちゅ♡れろ♡
ぶつつぢゅ〜♡♡

スイッチが入った天羽の
性欲をこんなにつけられたら...
体がいくつあっても足りない...ッ

おおおお

チッポ
ポッポ
ポッポ

ズッポ
ポッポ

ズッ

ジュポ
ジュポ
グッポ
ジュポ

「ほらあ……
わかります？」

「ご主人様のおチンポ、
もつと思いい切りしゃぶりついて
最後の精液ぶっこ抜いてえっ♡って、

ズッポ
ポッポ

ズッ

トロットロに蕩けながら早く
射精させてくれ♡ってビクビク震えて
訴えかけてきてますよお……♡」

ズッ

ズッポ
ポッポ
ズッポ
ポッポ



「ご主人様あ…♡♡♡
射精してえ…♡♡♡」



「ふふ♥それじゃあ2人で
学校の支度、始めましょうか♥
にゅるるうううう...♥つぽ♥
」

「うっ...
はあ...はあ...」

